

八千代市の現状



Regional

Economy

Society

Analyzing

System

地域経済分析システム

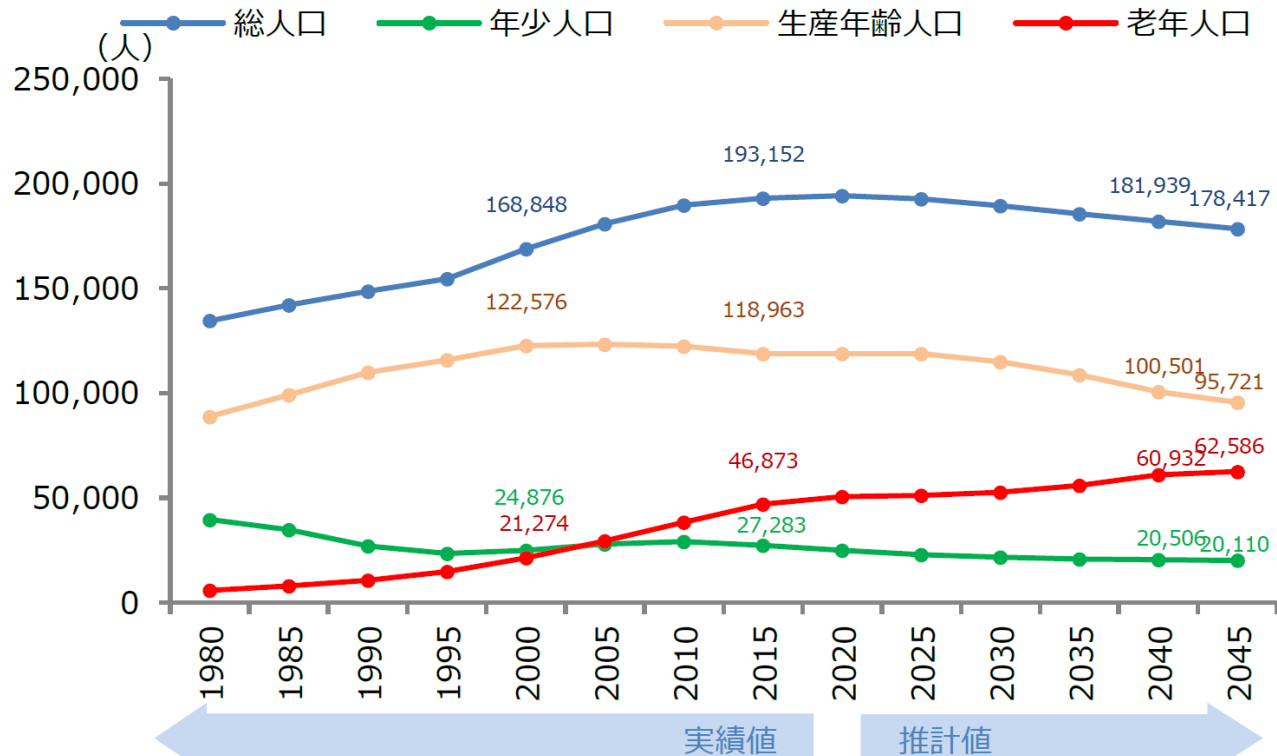
||| サマリー

1 人口

人口推移

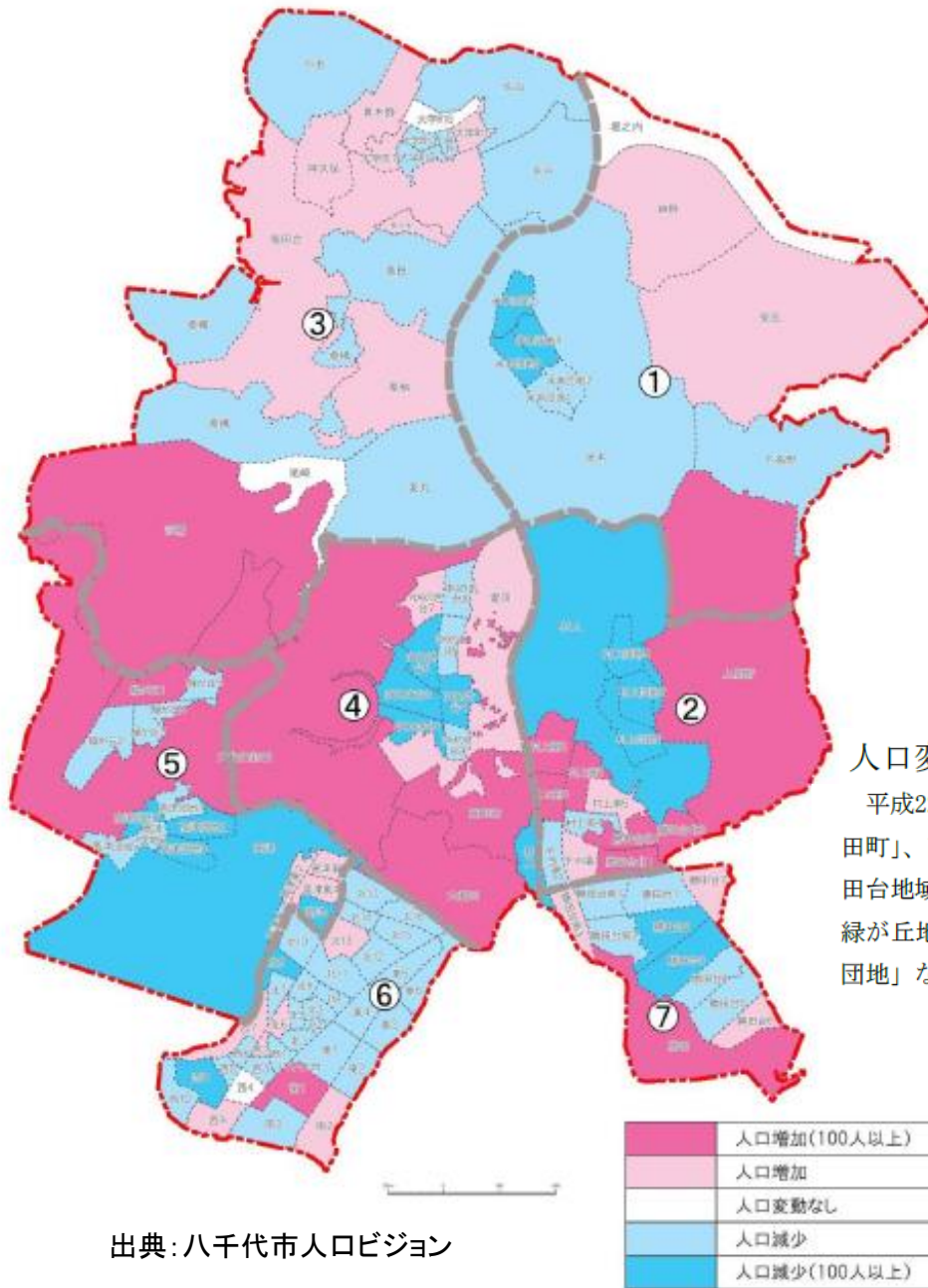
人口マップ>人口構成 → 「人口推移」

- ・総人口と年齢3区分別人口の推移を示しています。
- ・「総人口のピーク」「老年人口が増加を続ける期間」等、自地域の人口変化の概要を把握できます。



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

人口変動状況
【平成26年度末対平成22年度末】



出典：八千代市人口ビジョン

市全体の人口は増加しているが、
地域によっては人口減少が始まっている

人口変動状況（平成22年度末と平成26年度末の比較）

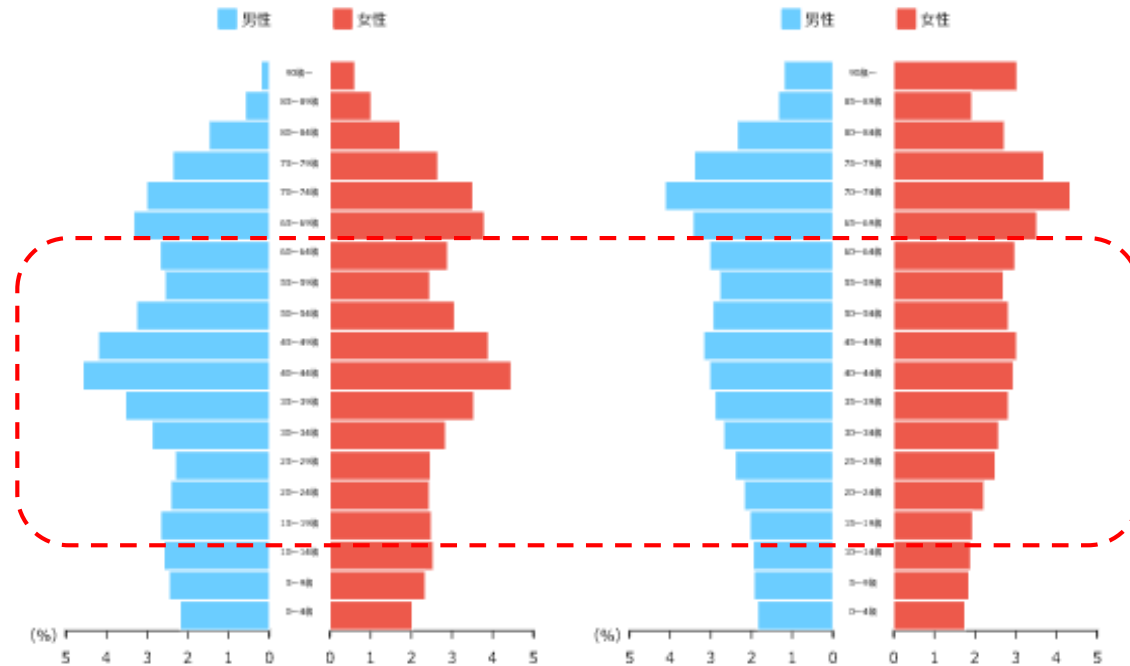
平成22年度末と平成26年度末を比較すると、大和田地域の「大和田」、「大和田新田」、「萱田町」、高津・緑が丘地域の「大和田新田」、「吉橋」、村上地域の「上高野」、「村上南」、勝田台地域の「勝田」などで人口が増加している。一方、大和田地域の「ゆりのき台」、高津・緑が丘地域の「高津」、「高津団地」、村上地域の「村上」、「村上団地」、阿蘇地域の「米本団地」などで人口が減少している。

人口ピラミッド

千葉県八千代市

2015年

2045年



老年人口 (65歳以上) : 46,873人 (24%)
 生産年齢人口 (15歳~64歳) : 118,963人 (61%)
 年少人口 (0歳~14歳) : 27,283人 (14%)

老年人口 (65歳以上) : 62,586人 (35%)
 生産年齢人口 (15歳~64歳) : 95,721人 (53%)
 年少人口 (0歳~14歳) : 20,110人 (11%)

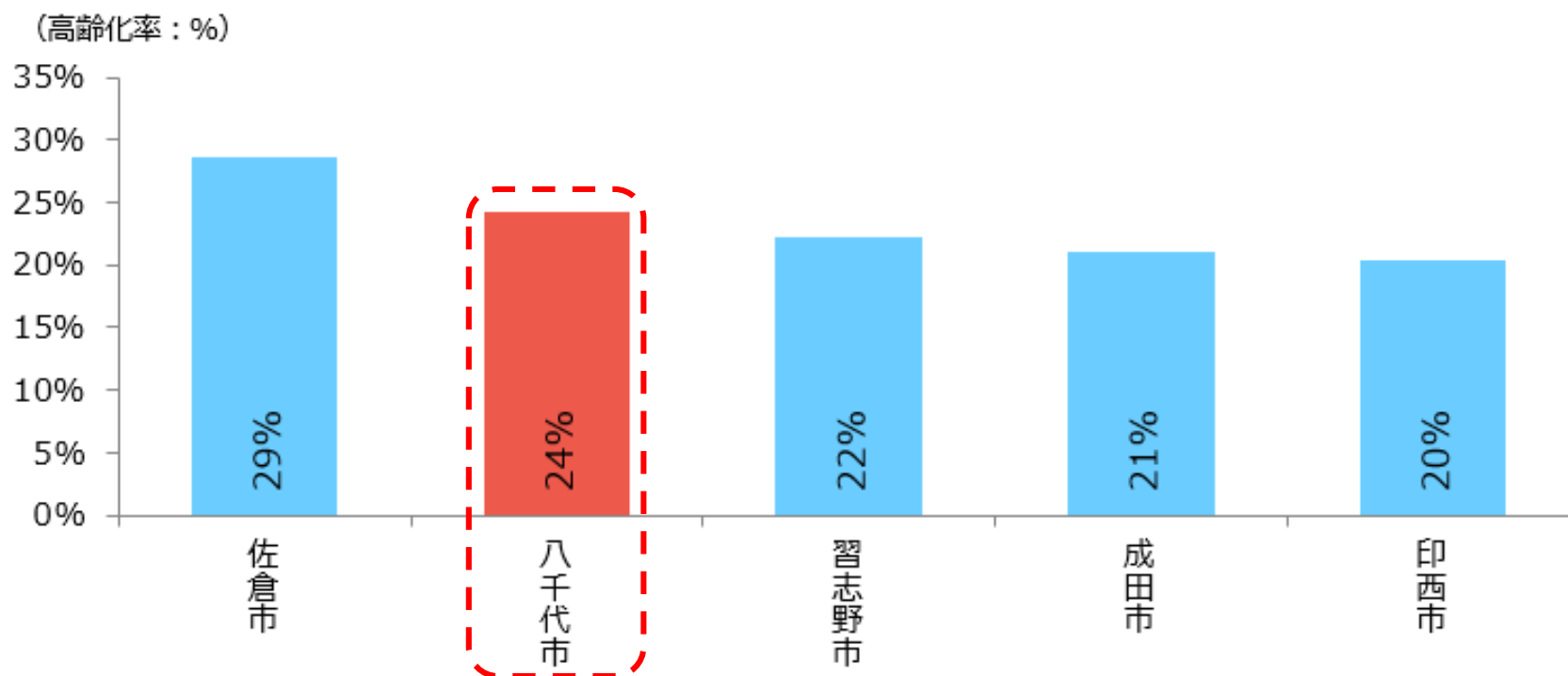
【出典】 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】 2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成25年3月公表）に基づく推計値。

高齢化率の比較

人口マップ>人口構成 → (ダウンロードデータより作成)

- ・高齢化率について、自地域の水準を把握することができます。
- ・高齢化の状況について、他地域（最大30地域）との比較により、自地域の立ち位置を確認できます。

2015年

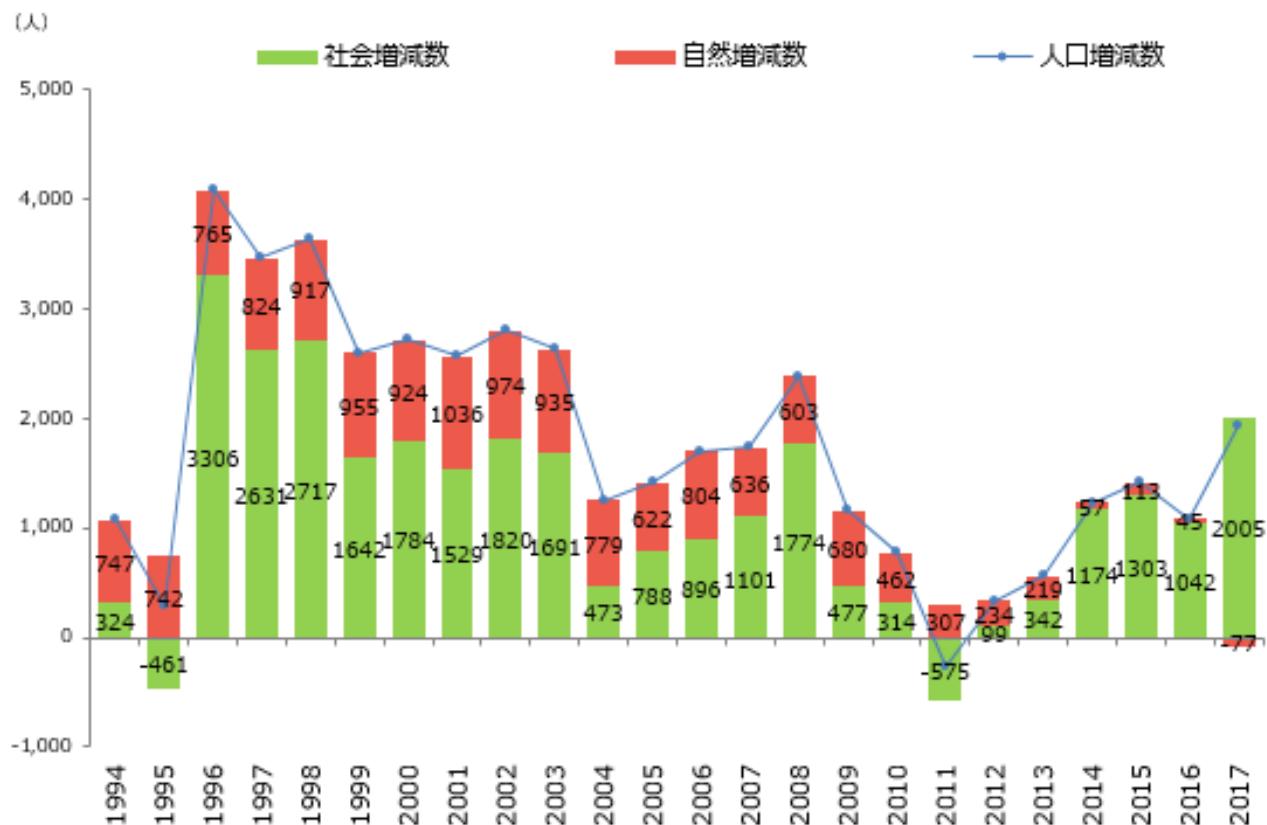


【出典】総務省「国勢調査」

自然増減・社会増減の推移

人口マップ>人口増減 → [「グラフを表示」](#)

・現在までの人口推移に「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の2つの要因が与えた影響を確認できます。



【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」再編加工

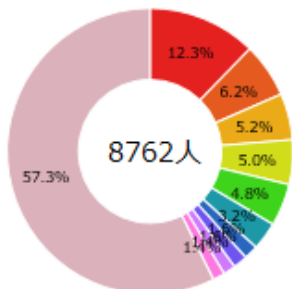
【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

転入数・転出数の上位地域

人口マップ>人口の社会増減 → 「From-to (定住人口)」

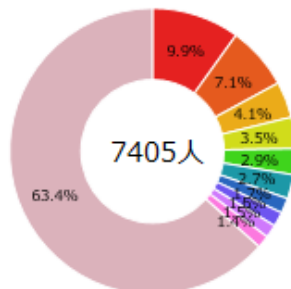
- ・直近時点で転入数・転出数の多い地域を示しています。
- ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。

転入数内訳 (2017年)



- 1位 千葉県船橋市 (1078人)
- 2位 千葉県佐倉市 (540人)
- 3位 千葉県市川市 (459人)
- 4位 千葉県習志野市 (441人)
- 5位 千葉県千葉市花見川区 (420人)
- 6位 東京都江戸川区 (278人)
- 7位 千葉県松戸市 (142人)
- 8位 千葉県成田市 (141人)
- 9位 東京都江東区 (122人)
- 10位 千葉県千葉市稲毛区 (120人)
- その他

転出数内訳 (2017年)



- 1位 千葉県船橋市 (736人)
- 2位 千葉県佐倉市 (529人)
- 3位 千葉県千葉市花見川区 (302人)
- 4位 千葉県市川市 (262人)
- 5位 千葉県習志野市 (217人)
- 6位 千葉県印西市 (202人)
- 7位 千葉県松戸市 (127人)
- 8位 千葉県千葉市中央区 (122人)
- 9位 東京都江戸川区 (110人)
- 10位 千葉県千葉市稲毛区 (105人)
- その他

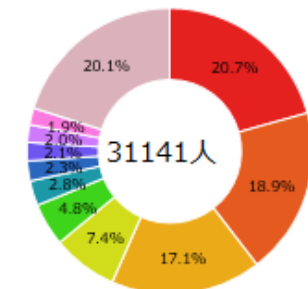
【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

流入者数・流出者数の上位地域

まちづくりマップ>通勤通学人口 → 「地域間流動をグラフで見る」

- ・直近時点で流入数・流出数の多い地域を示しています。
- ・自地域が吸引力を有している地域、流出抑制を検討すべき地域等を把握できます。

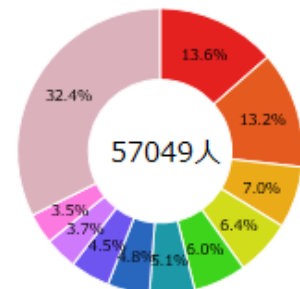
流入者数内訳 (2015年)



- 1位 千葉県佐倉市 (6441人)
- 2位 千葉県船橋市 (5877人)
- 3位 千葉県千葉市 (5315人)
- 4位 千葉県印西市 (1507人)
- 5位 千葉県市川市 (877人)
- 6位 千葉県成田市 (703人)
- 7位 千葉県四街道市 (647人)
- 8位 千葉県鎌ヶ谷市 (618人)
- 9位 千葉県白井市 (591人)
- 10位 千葉県白井市 (591人)
- その他

【出典】総務省「国勢調査」

流出者数内訳 (2015年)



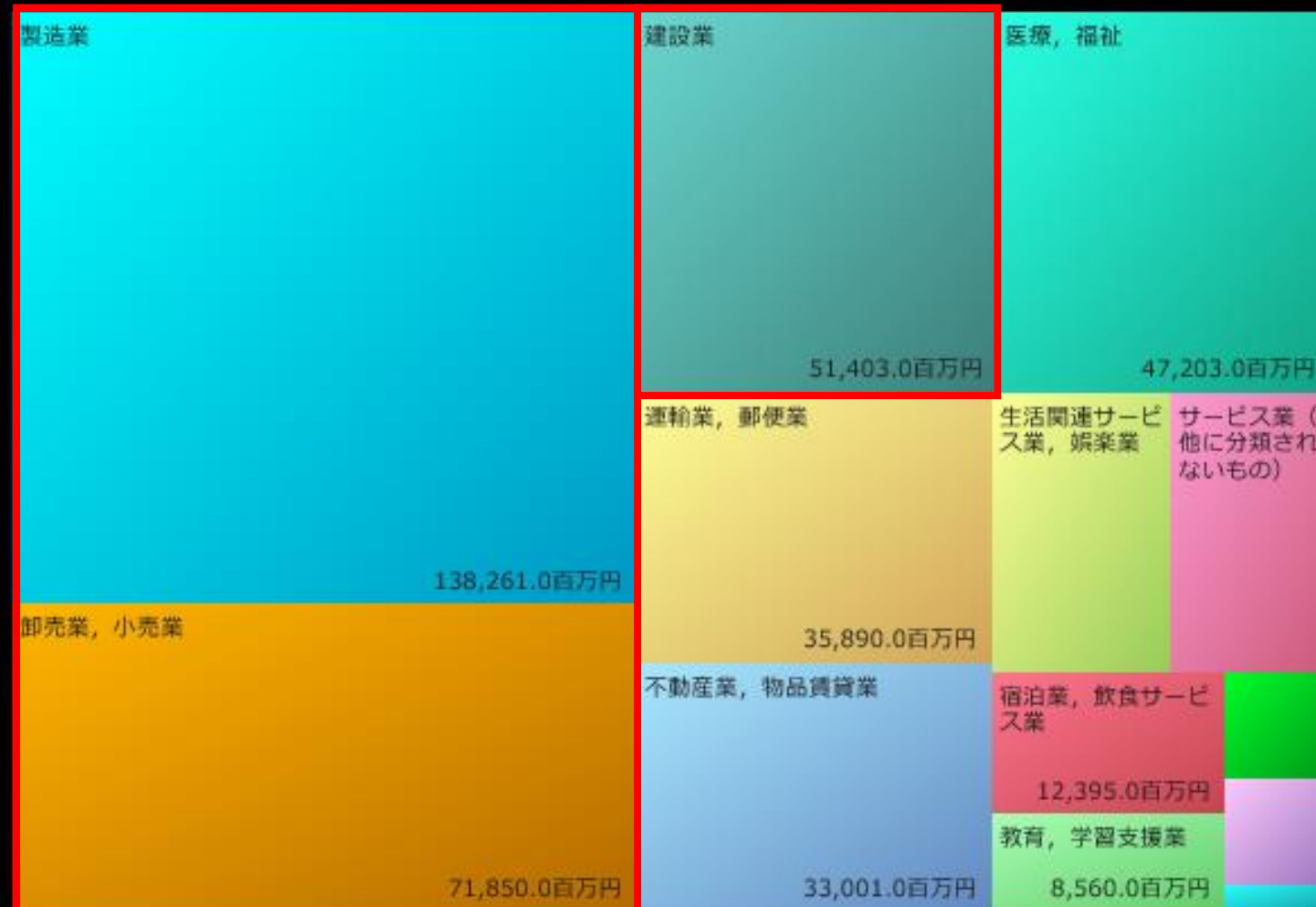
- 1位 千葉県船橋市 (7732人)
- 2位 千葉県千葉市 (7537人)
- 3位 東京都千代田区 (3980人)
- 4位 東京都中央区 (3639人)
- 5位 千葉県習志野市 (3405人)
- 6位 東京都港区 (2913人)
- 7位 東京都江東区 (2722人)
- 8位 千葉県佐倉市 (2569人)
- 9位 千葉県成田市 (2101人)
- 10位 千葉県市川市 (1987人)
- その他

2 産業・経済

2016年 売上高(企業単位) 大分類

千葉県八千代市

売上高(企業単位) : 446,313百万円



上図以外の売上高(企業単位)の合算 : 2,838百万円

【出典】

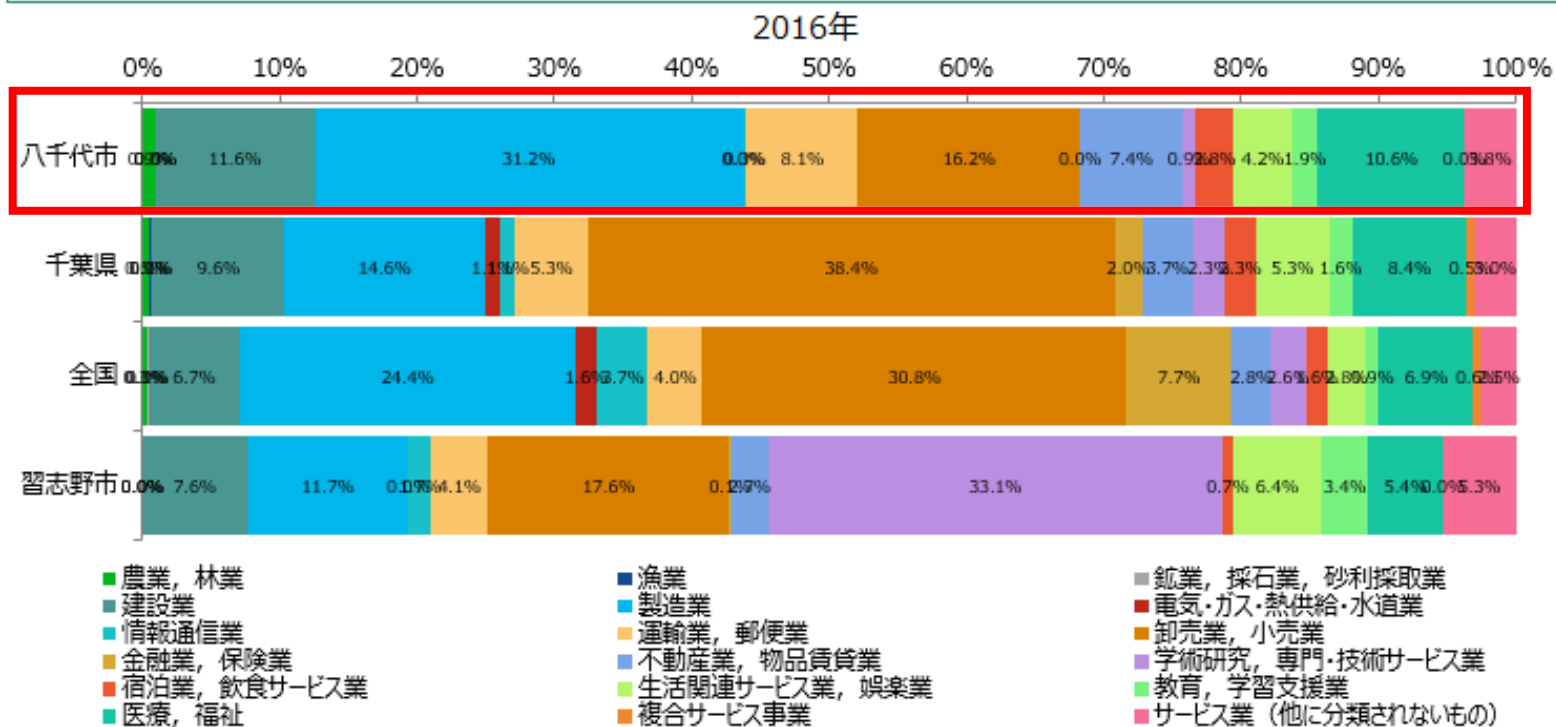
総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

【その他の留意点】 +

産業大分類別に見た売上高（企業単位）の構成比

産業構造マップ>全産業>全産業の構造 → 「横棒グラフで割合を見る」

- ・売上高（企業単位）について、産業大分類別の構成比を他地域と比較します。
- ・自地域において構成比の大きな産業、他地域と比較して構成比の小さな産業等、産業の特徴を概観できます。



【出典】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

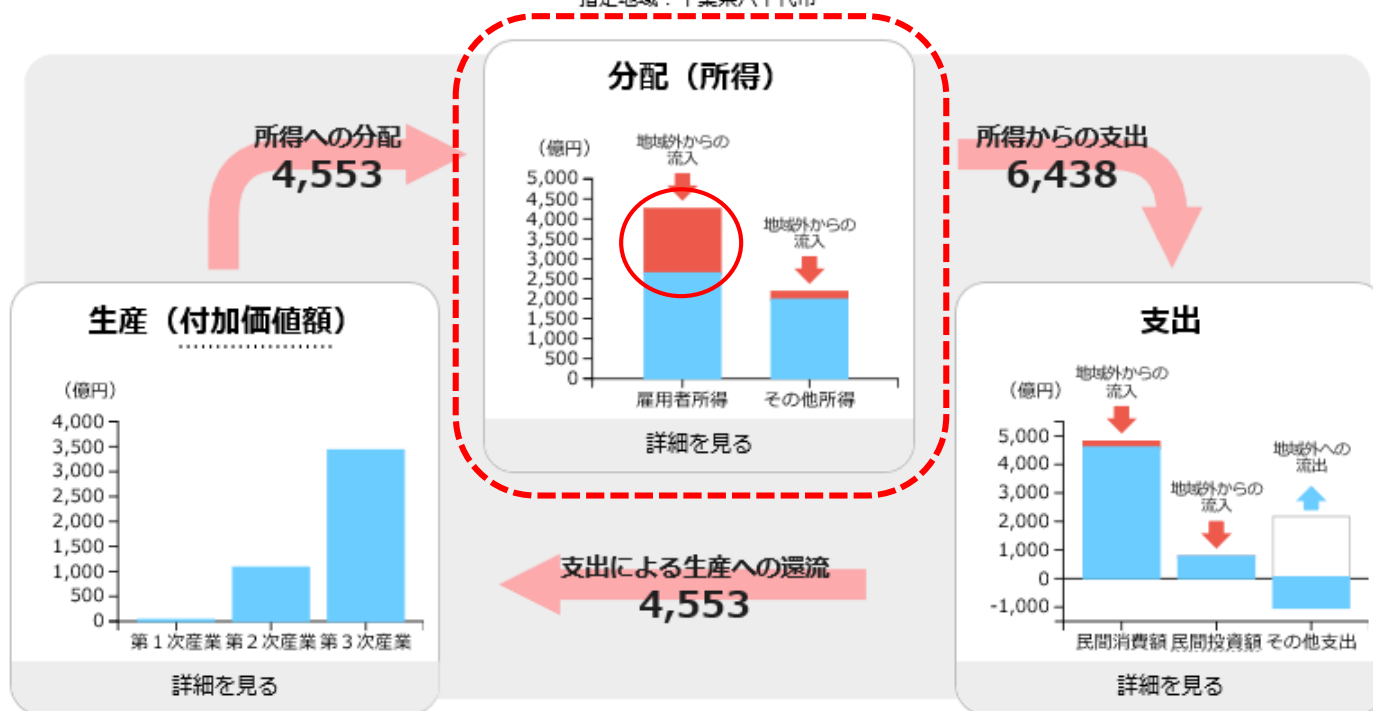
地域経済循環率

70.7%

地域経済循環図

2013年

指定地域：千葉県八千代市



【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<http://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している。(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。)

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等をいう。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。

例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合(域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合)は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

所得（一人当たり） 2013年

指定地域：千葉県八千代市

	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	496万円	114万円
所得 (一人当たり) 順位	242位	1,656位

人口一人当たり

※ 順位は1,719市区町村中

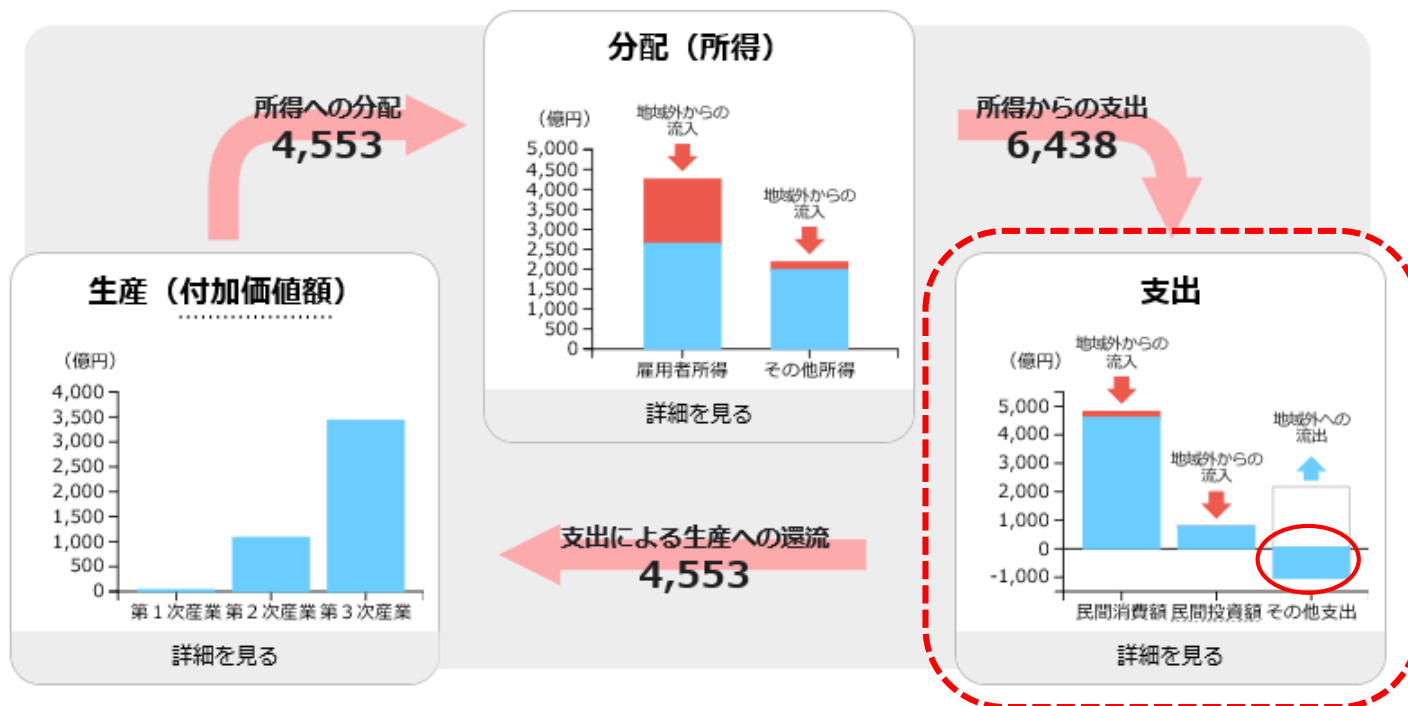
地域経済循環率

70.7%

地域経済循環図

2013年

指定地域：千葉県八千代市



【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<http://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している。(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。)

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等をいう。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。

例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合(域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合)は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

支出流出入率 2013年

指定地域：千葉県八千代市

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	5.6%	5.3%	-190.4%
支出流出入率 順位	583位	303位	1,698位

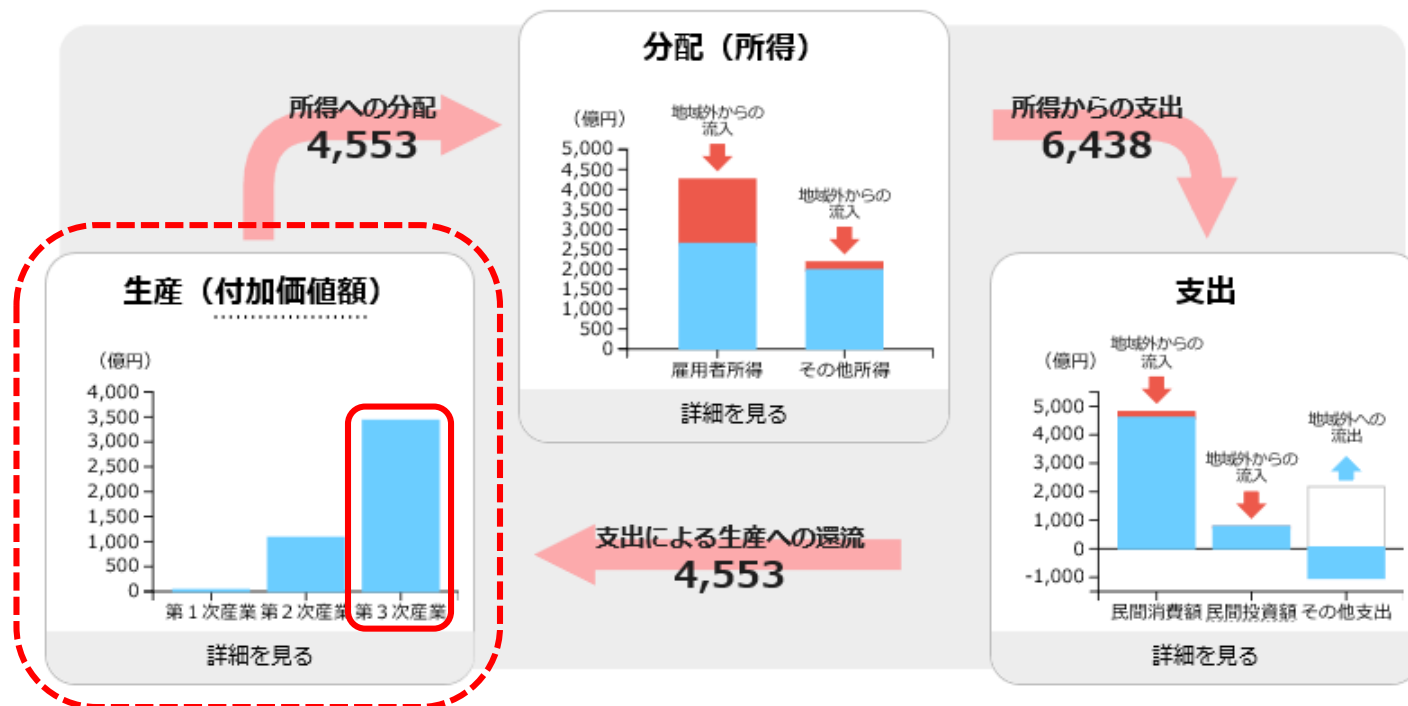
B to B

※ 順位は1,719市区町村中

地域経済循環率
70.7%

地域経済循環図 2013年

指定地域：千葉県八千代市



【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<http://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等をいう。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」＋「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。

例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合）は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

付加価値額（一人当たり）

2013年

指定地域：千葉県八千代市

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	321万円	830万円	742万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	368位	642位	589位

従業者一人当たり

※ 順位は1,719市区町村中

地域経済循環率

70.7%

ベッドタウンは100%にならない
東京は150%程

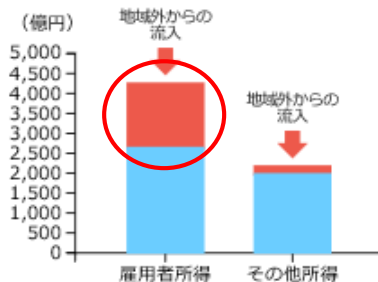
地域経済循環図

2013年

指定地域：千葉県八千代市

所得への分配
4,553

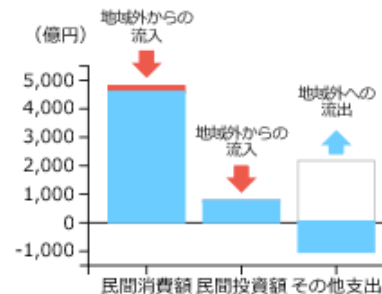
分配（所得）



詳細を見る

所得からの支出
6,438

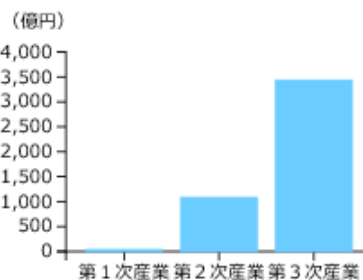
支出



詳細を見る

支出による生産への還流
4,553

生産（付加価値額）



詳細を見る

【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<http://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

「雇業者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等をいう。

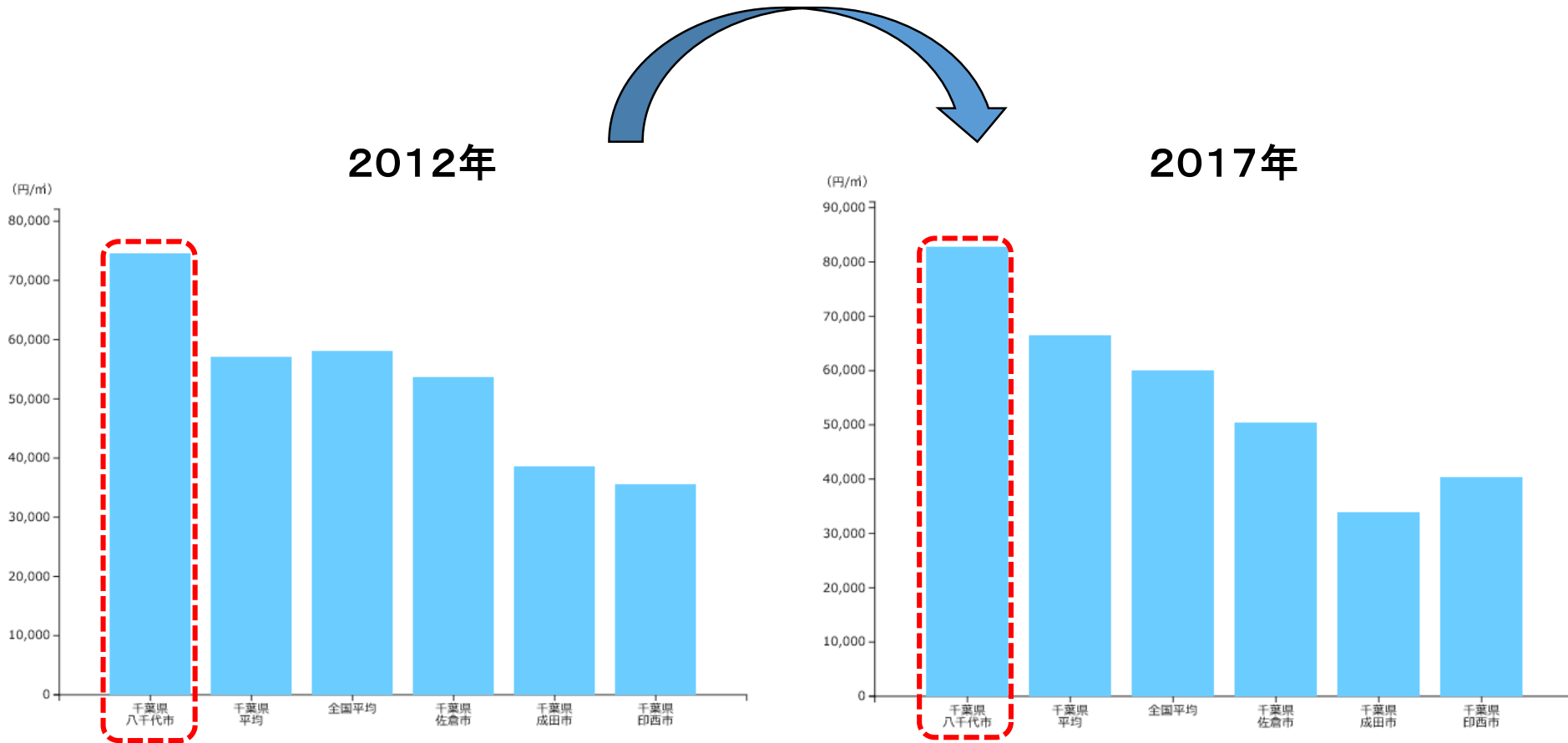
「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇業者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」＋「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。

例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合）は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

取引価格（取引面積1m²あたり）【住宅地】



【出典】

国土交通省「[土地総合情報システム](#) 不動産取引価格情報」

【注記】

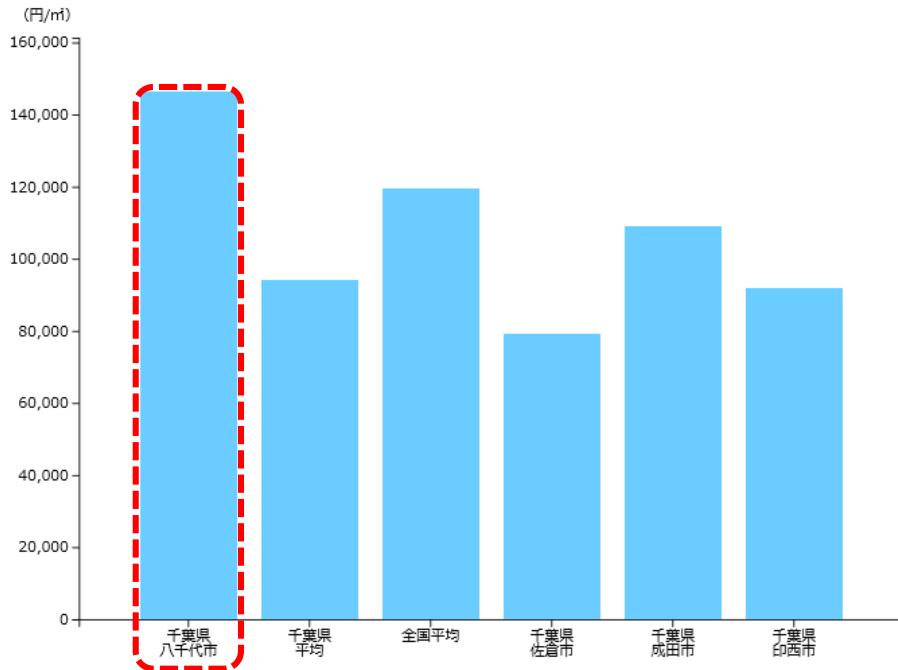
本データは、不動産取引価格情報（不動産の取引当事者を対象に不動産取引のアンケート調査を実施し、その結果得られた回答などについて物件が容易に特定できないよう加工したもの）を基に、地方公共団体を単位として1㎡あたり取引価格を算出したもの。ただし、「土地（住宅地）」・「土地（商業地）」の2,000㎡以上、「農地」・「林地」の5,000㎡以上の取引については除いている。

「土地（住宅地）」・「土地（商業地）」の取引は、土地のみの取引であり、土地と建物等を一括して取引したものは含まない。

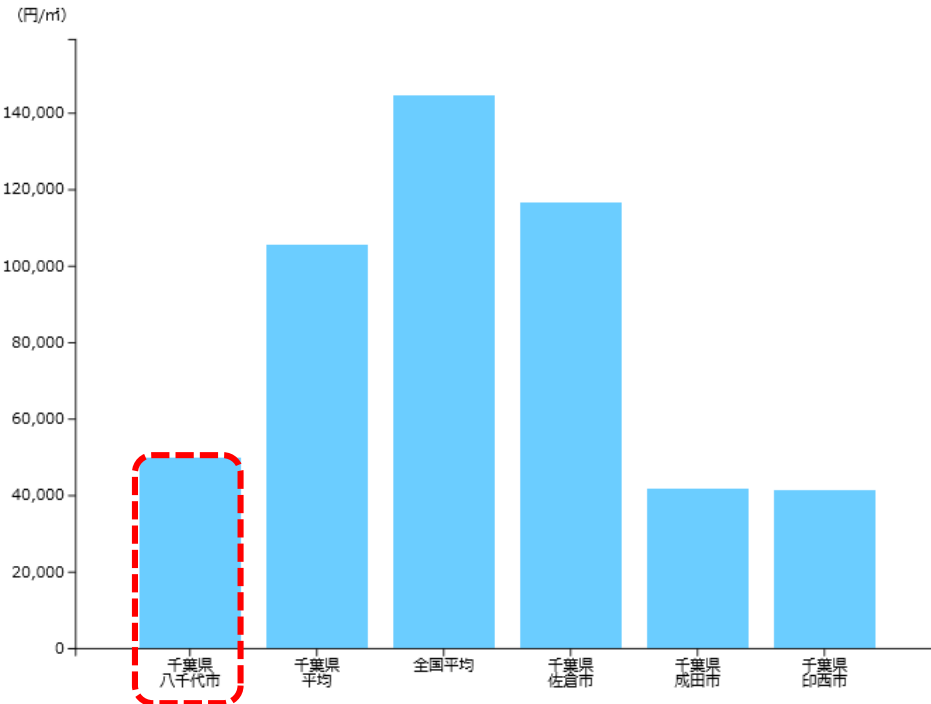
「中古マンション等」の取引とは、区分所有物件（戸単位）を取引したものをいう。なお、アンケート対象は所有権移転登記物件（中古マンション等）のみであり、所有権保存登記物件（新築マンション等）は含まない。

取引価格（取引面積1m²あたり）【商業地】

2012年



2017年



【出典】

国土交通省「[土地総合情報システム 不動産取引価格情報](#)」

【注記】

本データは、不動産取引価格情報（不動産の取引当事者を対象に不動産取引のアンケート調査を実施し、その結果得られた回答などについて物件が容易に特定できないよう加工したもの）を基に、地方公共団体を単位として1m²あたり取引価格を算出したもの。ただし、「土地（住宅地）」・「土地（商業地）」の2,000m²以上、「農地」・「林地」の5,000m²以上の取引については除いている。

「土地（住宅地）」・「土地（商業地）」の取引は、土地のみの取引であり、土地と建物等を一括して取引したものは含まない。

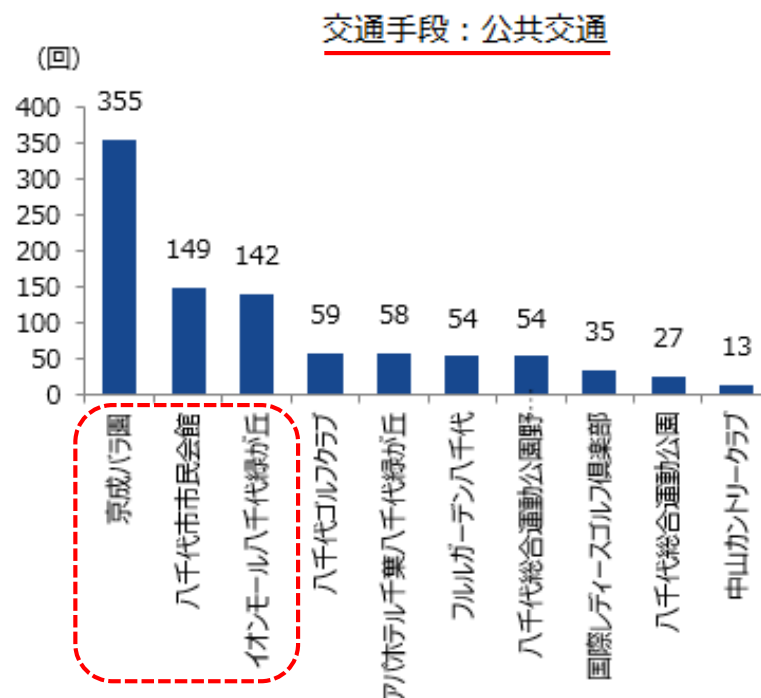
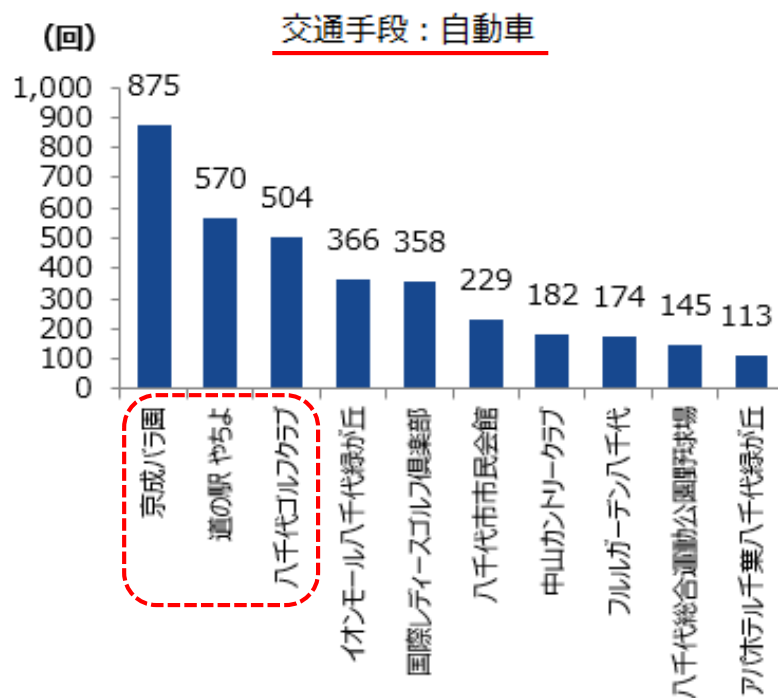
「中古マンション等」の取引とは、区分所有物件（戸単位）を取引したものをいう。なお、アンケート対象は所有権移転登記物件（中古マンション等）のみであり、所有権保存登記物件（新築マンション等）は含まない。

観光施設等を目的地とした検索回数ランキング

観光マップ>国内>目的地分析 → 「目的地検索ランキングを表示」

- ・自地域の観光施設等で、経路検索サービスにおいて目的地として検索された回数の多いものを表示します。
- ・自地域において集客力のある観光施設を把握できます。

2017年（休日）



【出典】株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

(日本人)休日14時に指定地域に滞在した人口の居住都道府県別割合

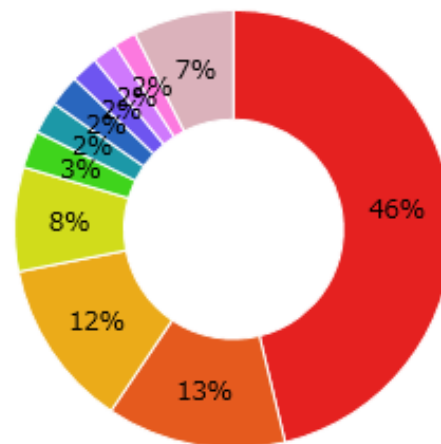
[まちづくりマップ](#)>From-to分析(滞在人口) → [「グラフを表示」](#)

- ・休日14時に自地域に滞在した県外居住者について居住都道府県別構成比を示しています。
- ・休日日中にどこからの訪問者が多いのかを把握できます。

滞在人口合計：138919人（うち県外居住者：5963人 県外割合：4.3%）

(2017年8月・休日14時)

県外居住者の地域別構成割合



- 1位 東京都
- 2位 埼玉県
- 3位 神奈川県
- 4位 茨城県
- 5位 大阪府
- 6位 愛知県
- 7位 静岡県
- 8位 群馬県
- 9位 兵庫県
- 10位 福島県
- その他

【出典】 株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」

【注記】 滞在人口とは、指定地域の指定時間（4時、10時、14時、20時）に滞在していた人数の月間平均値（平日・休日別）を表している。

滞在人口には観光客以外の来訪者も含んでいる。

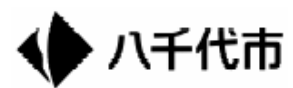
政令市については、市役所の位置する行政区のデータを表示している。

3 市民から見た市のイメージ

第10回八千代市市民意識調査

報 告 書

平成28年3月

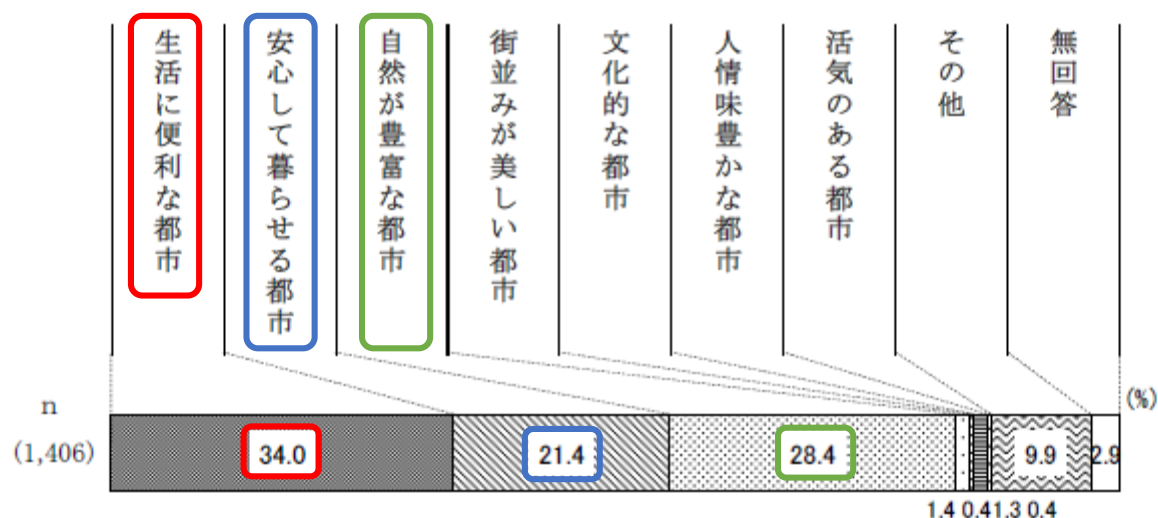


(1) 市のイメージ

◇「生活に便利な都市」が3割台半ば

問1 あなたは、八千代市にどのようなイメージをお持ちですか。(〇は1つ)

<図表1-1>市のイメージ



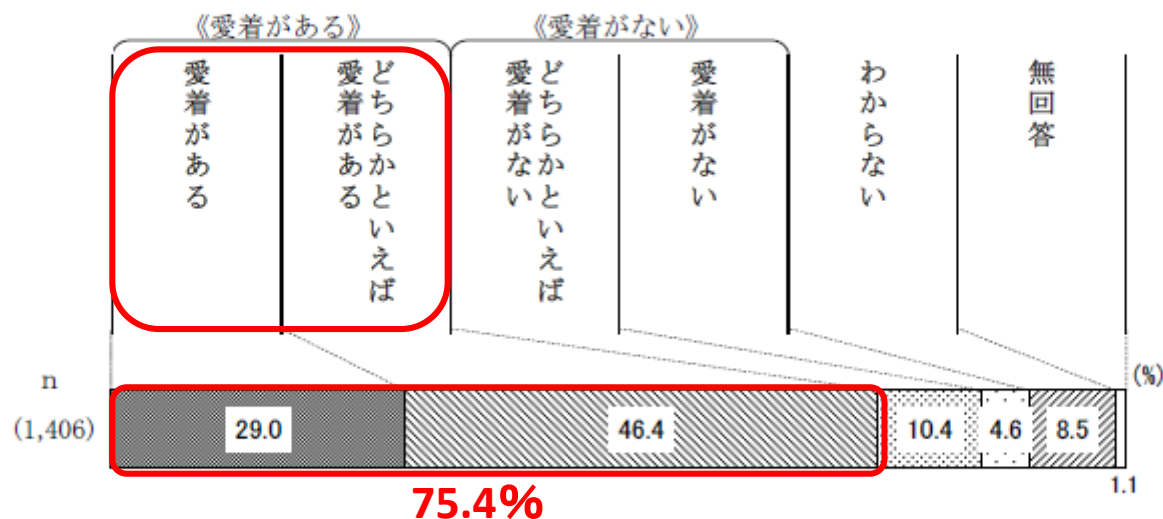
市のイメージは、「生活に便利な都市」(34.0%)が3割台半ばで最も高く、次いで、「自然が豊富な都市」(28.4%)が約3割、「安心して暮らせる都市」(21.4%)が2割を超えている。(図表1-1)

(1) 市への愛着心

◇《愛着がある》が7割台半ば

問2 あなたは、八千代市に愛着を持っていますか。(〇は1つ)

<図表2-1>市への愛着心



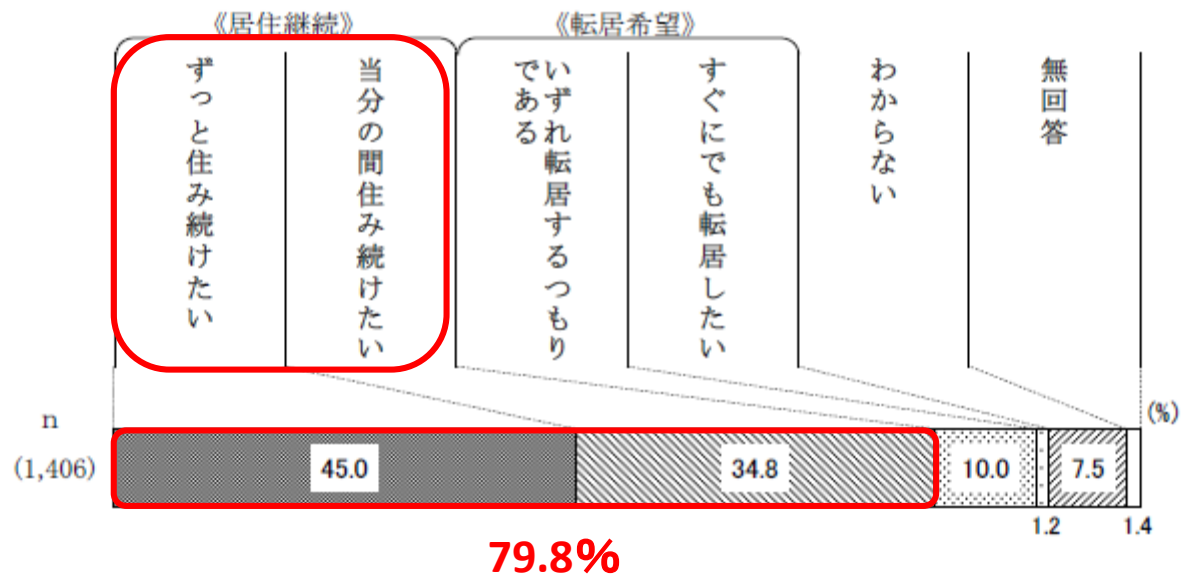
市への愛着心は、「愛着がある」(29.0%)、「どちらかといえば愛着がある」(46.4%)となっており、これらを合わせた、《愛着がある》(75.4%)は、7割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえば愛着がない」(10.4%)、「愛着がない」(4.6%)を合わせた、《愛着がない》(15.0%)は、1割台半ばとなっている。(図表2-1)

(2) 居住継続意識

◇《居住継続》が約8割

問3 あなたは、今後も八千代市に住み続けたいとお考えですか。(〇は1つ)

<図表2-3> 居住継続意識

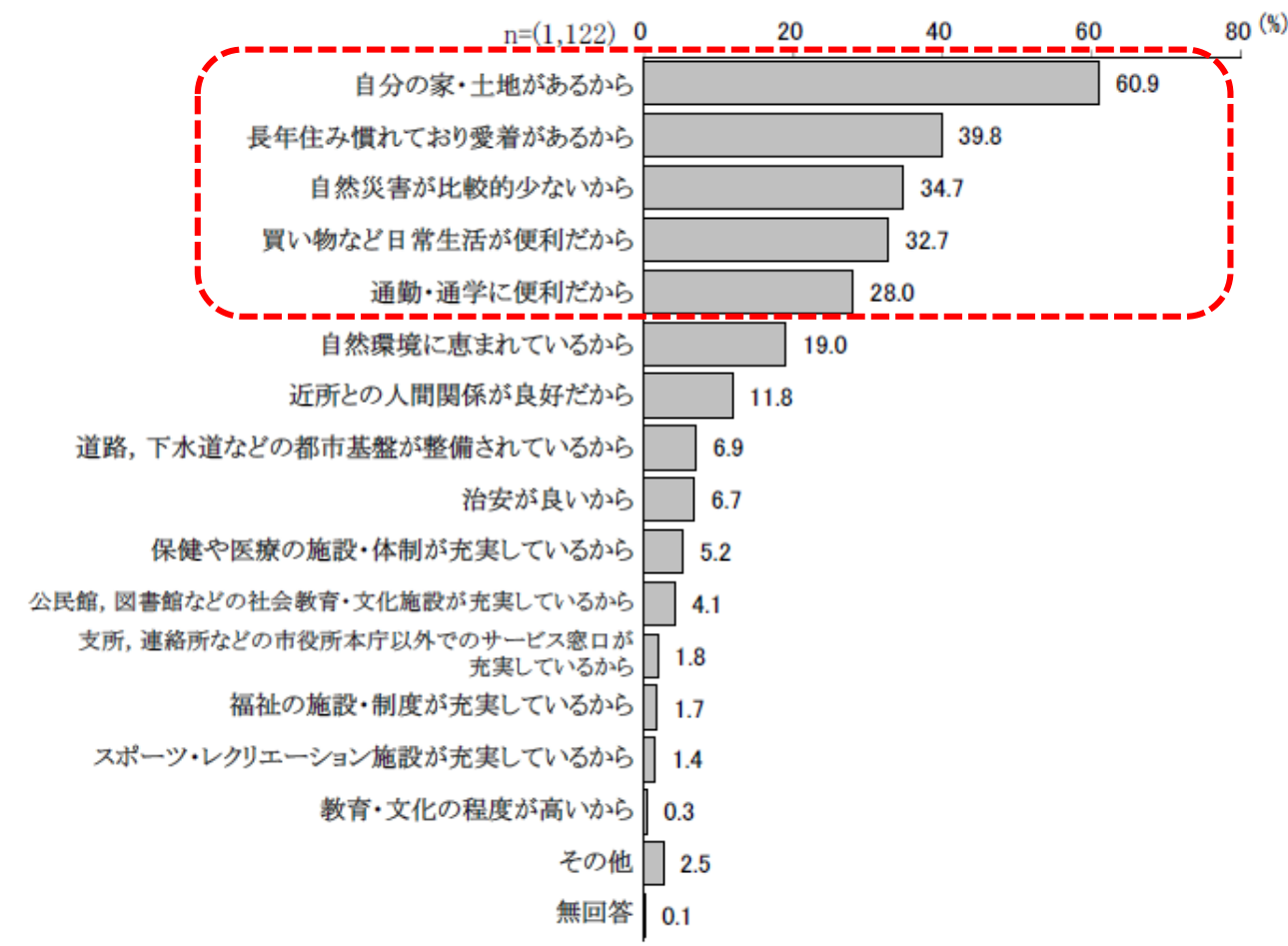


居住継続意識は、「ずっと住み続けたい」(45.0%)、「当分の間住み続けたい」(34.8%)となっており、これらを合わせた、《居住継続》(79.8%)は、約8割となっている。一方、「いずれ転居するつもりである」(10.0%)、「すぐにでも転居したい」(1.2%)を合わせた、《転居希望》(11.2%)は、1割を超えている。(図表2-3)

◇「自分の家・土地があるから」が6割

(問3で「1 ずっと住みたい」「2 当分の間住みたい」とお答えの方にお尋ねします)
問3-1 あなたが住みたいと思われる理由を次の中から選んでください。(〇は3つまで)

<図表2-5> 居住継続の理由 (複数回答)

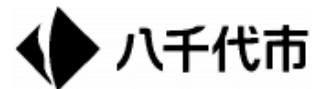


問3で、「ずっと住みたい」、「当分の間住みたい」と答えた方に、居住継続の理由について尋ねた。その結果、「自分の家・土地があるから」(60.9%)が6割で最も高く、次いで、「長年住み慣れており愛着があるから」(39.8%)が約4割、「自然災害が比較的少ないから」(34.7%)が3割台半ばとなっている。(図表2-5)

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する
市民満足度調査

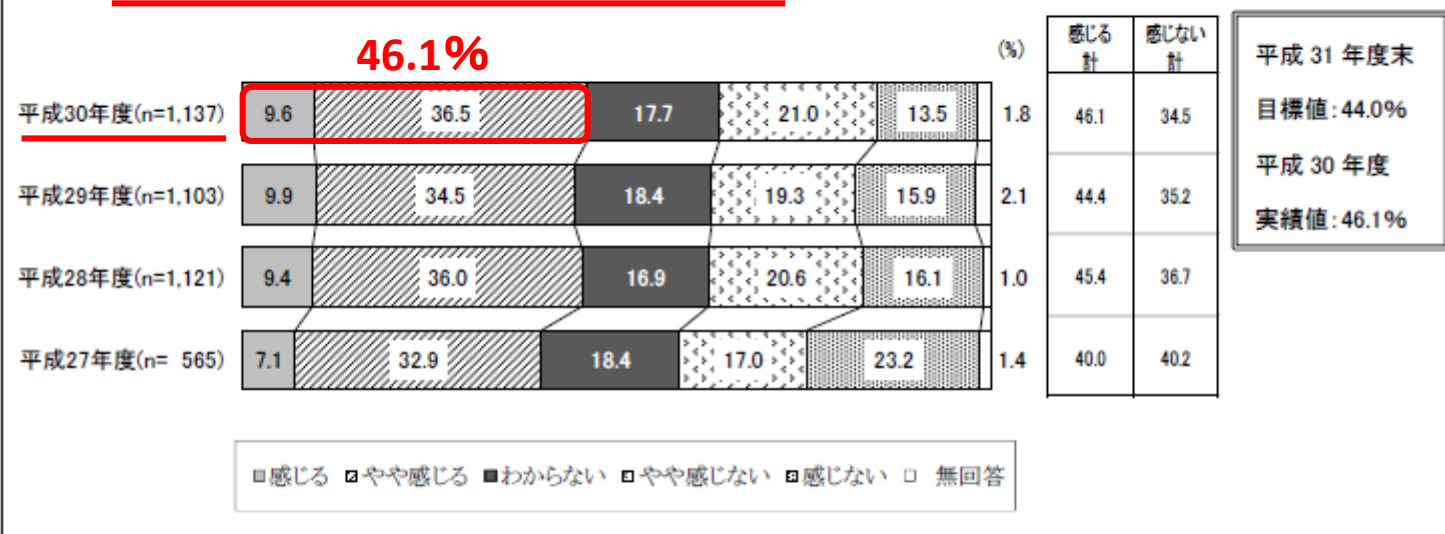
報 告 書

平成 31 年（2019 年）3 月



(3)「新川周辺の活性化」について

問7 市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあいの農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？



新川周辺が活性化していると感じるかについては、「感じる」(9.6%)と「やや感じる」(36.5%)を合わせた<感じる 計>(46.1%)が「やや感じない」(21.0%)と「感じない」(13.5%)を合わせた<感じない 計>(34.5%)を11.6ポイント上回っています。

平成29年度と比較してみると、<感じる 計>は平成29年度より1.7ポイント増加しています。

平成31年度末までの目標値44.0%に対して、平成30年度の実績値は46.1%であり、今回調査の達成率は104.8%となっています。